

## 1 月 13 日(木曜日) 枯れマツの除伐とシイタケランドの整備

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 11名】



新年を迎えた後の新鮮な気持ちと怠惰な体が同居しているこの時期。身も心も引き締めていこうと今年最初のモリメイトが始動。



ドングリの森周辺にも枯れマツが目立つようになってきたのでここから除伐することにした。比較的細い枯れマツ 6 本を除伐。



その後、サギソウ園奥の 2 番東屋周辺の枯れマツを 10 本除伐。サギソウ園奥の散策路沿いには枯れ木が多くあり、倒木の恐れがあるものから伐っていった。

午前中の作業が終わり引き上げようと軽トラを 100 メートルほど走らせたときに、ぬかるみにはまり動けなくなりました。ロープを付けもう一台の軽トラで引っ張ったが動かない。脱出のために他にもいろいろやってみたがタイヤが空回りするだけで動かない。「最後にもう一度みんなで押してみよう」ということになり、一斉に声を出し押してみると少し動きだした。三度目にやっとタイヤが土をつかんで動き、ぬかるみから抜け出すことができた。深く掘れた轍に土を入れ踏み固めて平らにして午前中の作業を終えた。

午後は、シイタケランドの生い茂っている笹を刈り、腐ったホダ木の始末をして整備を終えた。

### モリメイト会議

#### ◎「シイタケの菌打ち体験」について

- ・1 月に入りオミクロン株の感染が拡大しているため、2 月 13 日(日)の「菌打ち体験」を 3 月 13 日(日)に延期する。
- ・3 月も実施できない場合は、ホダ木の準備はしているので、菌コマは購入し、モリメイトで菌打ちをする。
- ・募集人数は 16 組(30 人ほど)参加費は 500 円とする

#### ◎枯れマツの処理について

- ・枝葉は園路の奥のめだたないところへ。
- ・幹は玉切りにし、来園者の邪魔にならないところに置いておき、運び出して燃料として利用する。

# 1月20日(木曜日) 雪の舞う中、枯れマツの除伐

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、杉、鈴木哲、鈴木明、中

計8名】



今日は大寒。その名の通り朝から雪がちらつく寒い1日となった。しかし、「花のテラス」の臘梅のつぼみは黄色を帯びて膨らみ今にも花を咲かさんとしていた。古今和歌集に「冬ながら空より花の散りくるは 雲のあなたは春にやあるらん」という歌があるが、今日がまさにその日。春は再び巡ってきて、命の営みが繰り返されていくのを森林公園で作業をしていると感じる。

雪の舞う中、先週に引き続き2番東屋周辺の枯れマツを除伐していた

11時ごろから雪が激しく舞うようになってきた。作業を続けるのは無理だと判断し、ビジターコテージに戻ることにした。暖かいコーヒーを飲み、冷えた体を温めながら談笑。止むのを待ったが雪はやみそうにないので弁当を食べた後解散した。



# 1月27日(木曜日) 作業の後の弁当はうまい!

【参加者:池本幸、池本美、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中

12名】

1月に入り木曜日の活動日は寒い日が続いていたが今日は風もなく穏やかであった。

2番東屋から3番東屋に続く地道の園路周辺には、松が乱立しておりたくさんの松が枯れていた。6台のチェーンソーがフル活動。アツという間に松を伐倒し、枝葉を払い、幹は丸太に切っていった。チェーンソーを持たない者は枝を茂みの中へ運び、丸太を散策する人の邪魔にならないところにきれいに並べ、ほうきとブローアで園路をきれいにしていった。思うところに倒れてくれそう



くない枯れマツはロープを使って誘導し伐っていった。午前中で約30本除伐。

お昼は3番東屋近くの広場の陽だまりに腰を下ろし弁当を広げた。実にみんなうまそうに食べる。自前のカップにインスタントコーヒーの粉末を入れ、魔法瓶の湯を注ぐ。メンバーが持ってきてくれたお菓子と一緒にこの空の下で飲む食後のコーヒーは格別である。他愛もない会話に心が和む。

午後からは枯れマツ9本除伐。



ツルリンドウの実を発見

